

県立高等技術専門校の整備・運営について

- 1 策定の趣旨** 東日本大震災からの復旧・復興と富県宮城の実現を担う産業人材の育成を着実に図るため、県立高等技術専門校の整備・運営について定めるもの
- 位置付け** 第10次宮城県職業能力開発計画の下位計画
- 2 対象期間** 平成28年度から平成32年度まで

3 県立高等技術専門校を取り巻く現況

- 建設関連業、ものづくり産業などで担い手が不足
- 非正規労働者が増加、新規高卒者の3年以内離職率が全国平均を上回るなど、若者の定着が不十分
- 多くの企業において人材の確保・育成が経営課題
- 企業の支出する教育訓練費が減少するなど、在職者の職業能力開発機会が不十分



人材育成や人材の定着に向けた取組の重要性がますます高まっており、職業能力開発施設として県立高等技術専門校が果たすべき役割は大きい

4 県立高等技術専門校の現状と課題

	現状	課題
(1) 入校者数の減少	○入校者数の定員割れ	○募集活動範囲の拡大 ○PRを強化
(2) 地域との連携不足	○被災沿岸地域を中心に人口の流出 ○情報共有等地域との連携不足	○地域産業を担う人材の職業訓練等の実施 ○地域の関係機関等との連携強化
(3) 訓練内容の充実	(施設内訓練) ○ものづくり職種を中心とした技能者の輩出 ○離転職者や中高年齢者を対象とした訓練実施 (在職者訓練) ○他都道府県と比較しない実施状況 (委託訓練) ○民間教育訓練機関を活用した離転職者向け訓練実施	(施設内訓練) ○社会情勢や企業ニーズの変化を踏まえた訓練内容の充実及び訓練科の設定 (在職者訓練) ○コース数の増加 ○PRの強化 (委託訓練) ○離職者等の職業能力を引き出す効果的な訓練コースの設定



5 県立高等技術専門校の今後の取り組み

取り組み事項	取り組み項目
(1) 入校生の確保	○高校に重点を置きつつ、大学等も対象に加えた募集活動の強化 ○関係機関と連携を図り、未就職者や早期離職者を対象にした職業体験を実施し、職業訓練のPRを強化 ○ITを有効に活用した募集活動の強化 ・SNSなどを活用した職業訓練情報の発信 ○県立高等技術専門校の知名度向上のため、イベントへの効果的な出展 ・体験の要素を取り入れた出展の工夫 ・作品製作の工程が見える展示方法の改善
(2) 地域との連携による県立高等技術専門校の役割強化	○地域の実情を踏まえた訓練の実施 ・各ハローワークなどと情報共有し、より効果的な訓練を実施 ○企業訪問等における訓練ニーズ把握の強化 ・訓練生が就職した企業にアンケート調査を実施するなど、企業が求める訓練ニーズを把握 ○高校生の職業観醸成のための体験学習実施 ・地域の高校生を対象に職業体験の場を提供 ○地域の小中学生等に対し、ものづくりの魅力を発信 ・小中学生を対象にした「ものづくり教室」の実施検討
(3) ニーズに応じた訓練内容の充実	(施設内訓練) ○企業訪問等から得られる訓練ニーズを踏まえ訓練内容を充実 ○技能検定や国家資格などの資格取得を強化 ○大崎高等技術専門校建築科を2年課程に移行 ○石巻高等技術専門校木工科のカリキュラムに伝統工芸の技能習得を追加 (在職者訓練) ○魅力ある訓練コースの増加 ・企業や団体などの要望に応じたオーダーメイド訓練などを実施 ・受講者アンケート等を踏まえた訓練コースの新設 ○効果的なPRの強化 ・SNSなどを活用した在職者訓練情報の発信 (委託訓練) ○OA、IT、医療事務、不動産管理などの訓練を実施 ○地域コンソーシアム事業の成果などを踏まえた新規訓練コースの設定
(4) 指導体制のあり方	○職業訓練指導員に複数免許の取得を奨励
(5) 管理・運営	○現在の5校体制を維持 ○既存施設・設備を維持補修し使用 ○訓練機器は必要に応じ整備

6 その他

○雇用情勢や社会経済情勢等の変化、並びに上位計画である第10次宮城県職業能力開発計画の見直し等の状況により、本計画についても適宜見直しを行う。